
短編 文学少女に食べさせてみた。

中二病 番号 20000

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

短編 文学少女に食べさせてみた。

【Nコード】

N2711V

【作者名】

中二病 番号 20000

【あらすじ】

心葉が風邪で休んでしまったため、いつものおやつが食べられず。

空腹に耐えきれなくなった遠子先輩は中庭のポストに入れられてたとある4つの連載中作品を口にする・・・

（前書き）

これは、自分が今まで書いてきた4つの作品を文学少女に食べさせたというものです。

細かいことは気にしないという精神でご覧下さい。

ある日。がらんとした文芸部の教室で文学少女こと、天野遠子は椅子に体育座りをしながら唸っていた。

「うつうつ…おなかすいた〜。」

いつも、彼女の『おやつ』を書いてくれる井上心葉は風邪で学校を休んでいる。

仕方なく、図書館で借りてきた適当な本を読みあさっていたが…当然、おなか膨れるわけでもなく

空腹の上、目の前にはおいしそうな食事が並んでいるという状態だ。我慢などできるわけがない。

「（こうなったら…ちょっとだけ…いえいえ、ここは我慢よ…）」

…とはいつても、おなかすいたな〜…あっ！（）」

「そつだ！中庭のポストにお手紙が届いてるかもしれないわ！」

そう言って、部室を飛び出した遠子はまっしぐらにポストに向かい。中身を確認する。

「あった！…でもこれ…ラブレターじゃないわ。ええい！この際何でもいいわ。」

誰にも見つからないよう、いそいそと部室に戻った遠子は、400字詰め原稿用紙を読む。

「えっと、作者は・・・中二病太？すごい名前ね・・・
作品は、4つ。でも、全部完結してないわね・・・まあ、贅沢は
言ってられないわ。」

さてと、まずは・・・なにに？『ヘイト・ブラッド』・・・ふ
むむむ。」

パクリ ムシヤムシヤ

原稿用紙を破り、口に運んだ遠子は涙を零しながら絶叫する。

「に、にが~~~~~い!!!まるで生焼けのポークソテ
ーに辛い辛い青汁をそのままかけたみたいな味だわ・・・
こ、これはちよつと保留よ・・・」

涙目のまま、遠子は次の原稿用紙を手にする。

「これは・・・『チキン野郎が幻想入り』？」

一般人のちよつとチキンな男の子が、紅魔館って屋敷で執事にな
るって設定ね。」

主人公の必殺技が逃げるってのも特徴ね。」

パクパク

「ん~~~~酸味とほろ苦さがちよつとだけ強い感じね。この二つはま
だ短いから今後どういう展開になるのかしら？」

一通り食べつくしたところ、次は比較的厚めの二つを手を取った。

「『すべての道はローマに通ず』と』とある誰かの野望物語(hi
gh hopes)か、

んぴょん跳ねまわった。

目から水が流れ出て、舌がちぎれそうな・・・いやちぎれたほうがいくらかマシなくらいの辛く、にがいが口内で暴れだす。ついつい図書館で借りた恋愛小説のページを引きちぎり。食べたことによつて少しは緩和できた。

「これは、ぜつつつつつたい無理！！だれよこんな書いた人！ひどいわ！むごいわ！あんまりよ！」

泣きべそをかきながら、原稿用紙を封筒に入れ、切手を貼って心葉の住所を書いた。

「3日も休んだ罰よ！こうなったら心葉君にも食べてもらって痛い目に会ってもらうんだから！」

冷静さを欠いた頭は、心葉は普通の人間で文章を食べないことをすっかり忘れていたのだった・・・

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2711v/>

短編 文学少女に食べさせてみた。

2011年10月9日07時50分発行